

- 「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」受賞記念講演会・シンポジウムを開催
- 「研修会資金助成」「自動車購入費助成」の助成先、対象者を決定
- 研修会資金助成 関西地区贈呈式を開催
- 財団からのお知らせ

発行者 公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン日本興亜本社ビル TEL：03-3349-9570 FAX：03-5322-5257

http://www.sjnkwf.org/ Eメール：office@sjnkwf.org

2017年度

vol. **2**

## 第18回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞 講演会・シンポジウムを開催

7月1日(土)東京都千代田区のグランドアーク半蔵門にて、「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞<sup>※</sup>」の受賞記念講演会、シンポジウムを開催しました。研究者や学生、企業・各種団体の皆様など、約100名の方にご参加いただきました。

※「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」とは

社会福祉分野における優れた社会福祉学術文献を表彰する制度です。社会福祉の学問的探求を志向する多くの学者、研究者の研究意欲を促進し、社会福祉の発展に寄与することを目的としています。

第I部では、第18回「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」の受賞者、衣笠 一茂氏（大分大学福祉健康科学部学部長教授）が、受賞著書『ソーシャルワークにおける「価値」と「原理」－「実践の科学化」とその論理構造－』について講演されました。

第II部では、「ソーシャルワークと子どもの最善の利益」をテーマにシンポジウムを開催しました。会場からの質問も踏まえて、白熱したディスカッションがなされました。

参加者からは、「自己決定」について、近代を踏まえての解説、自己判断や能力があって近代社会が成り立つがそこからこぼれる人の生きづらさ、尊厳の喪失についての話が大変興味深かった。」「刺激的な話で、多くのものを示唆された。日頃の実践の中で“自己決定”という言葉の使われ方をもう一度考えさせられた。」「ソーシャルワーク実践の中で、継続性、永続性を語るとマニュアル化を語られることが多い中、そうではない論理の糸口（新たな関係性の価値の実践）を得ることができた。」「子どもの最善の利益について何が問題であるか整理されていてよく理解できた。これからこの問題をどうやって解決していくのか考えるきっかけとなった。」など多くの感想がよせられました。

### 【シンポジウムご登壇者】

コーディネーター：芝野 松次郎 氏

〔関西学院大学人間福祉学部 教授〕

パネリスト：伊藤 嘉余子 氏

〔大阪府立大学地域保健学域 教授〕

：畠山 由佳子 氏

〔神戸女子短期大学幼児教育学科 准教授〕

コメンテーター：衣笠 一茂 氏

〔大分大学福祉健康科学部学部長 教授〕



衣笠 一茂 氏



シンポジウム



懇親会

## 研修会資金助成 対象者を決定

2017年度研修会資金助成金として、介護家族の会、介護家族等を支援する23団体を対象に、合計283万円の助成を決定しました。

今年は募集地域を日本全国とし2017年5月から7月にかけて公募したところ37件の応募がありました。

## 2017年度 研修会資金助成 助成先一覧

所在地	団体名	研修会の名称、内容	助成金額 万円
青森	公益社団法人 認知症の人と家族の会 青森県支部	研修会・シンポジウム 「世界アルツハイマーデー記念講演会inつがる市」	15
秋田	公益社団法人 認知症の人と家族の会 秋田県支部	家族介護者の現状と課題を考える研修会 ～現役男性介護者をお迎えして～	15
栃木	宇都宮介護者の会	研修会 「病気になったらどんな支援があるの？ ～退院後の支援の流れを知り、家族の不安をとりのぞく勉強をしませんか～」	13
埼玉	上を向いて歩こう会 (パーキンソン病家族の会)	研修会等 (4回実施) ①上を向いて歩こう体操 ②介護保険サービス勉強会 ③介護負担との向き合い方講座 ④パーキンソンアート体験会	15
千葉	ケアラー支援ネットワーク協議会	シンポジウム・交流会及び集い・専門職相談ブースの複合的フェア 「包括的なケアで助け合い・支え合う街に」	15
東京	若年認知症家族会 彩星の会	シンポジウム 「より質の高い「在宅介護」をめざして (副題 「辛」から「幸」へむけて)」	15
東京	公益社団法人 認知症の人と家族の会 東京都支部	勉強会 「在宅介護のための手だてを知ろう」	15
石川	白山市 認知症の人と家族の会 (家族の会 レインボー)	人形を使った認知症講座 「人形が語る認知症の世界」→認知症の方と家族がいつまでも自分らしく暮らしていくために～	9
福井	公益社団法人 認知症の人と家族の会 福井県支部	研修会 「家族支援プログラム (6回コース)」	9
長野	千曲地区 認知症の人と家族の会	市民講座 「認知症についての正しい理解を進める 等」	8
静岡	伊東市 介護家族会	〈みとりと音楽療法〉 セミナー&ワークショップ『死に逝く人は何を思うか』	15
静岡	家族の会 共生	研修会 「地域で認知症の人を支えるためには」	15
愛知	特定非営利活動法人 つづら	シンポジウム 「介護の未来はどうなるの？パート2 ～日本一若い町で考えるこれからの暮らし～」	15
愛知	ぼちぼちの会 (認知症と家族の会)	研修会 「認知症の病気と介護について学ぼう」	4
三重	公益社団法人 認知症の人と家族の会 三重県支部	研修会等 「家族介護教室 ～笑顔で介護 笑顔の暮らし コツはなに？～」	8
大阪	大東市 介護者家族の会「サルビアの会」	勉強会 「在宅医療・介護との連携について」	9
大阪	認知症を理解し地域で支える会	「認知症の人とともに」 認知症の人本人の思いや認知症への理解を深めるシンポジウム	6
兵庫	特定非営利活動法人 愛逢	第12回 生と死を考える市民講座 「あなたはどこで死にたいですか？」～住み慣れた「まち」で生きて逝く～	14
奈良	生駒市介護者 (家族) の会	研修会等 「介護を語り合う集い ～介護は突然やってくる その時あなたは？～」	15
和歌山	公益社団法人 認知症の人と家族の会 和歌山県支部	講演会 「世界アルツハイマーデー記念講演会2017」	8
山口	光市 認知症を支える会	シンポジウム 「地域でみんなで認知症を見守る」	15
福岡	NPO法人 老いを支える北九州家族の会	認知症初期における対応研修会	15
沖縄	介護生活を考える「あだんの会 糸満」	地域支え合い活動シンポジウム (介護生活を考える「あだんの会 糸満」 創立20周年記念事業)	15



助成先が実施した研修会の様子

## 自動車購入費助成 助成先を決定

2017年度自動車購入費助成金として、障害者に対する福祉活動などを行う10団体を対象に、合計約1,000万円の助成を決定しました。

今年度は、東日本地区を対象に、2017年6月から7月にかけて公募したところ、77件の応募をいただき、以下の10団体に助成を決定しました。

### 2017年度 自動車購入費助成 助成先一覧

所在地	団体名*	主な事業 ※事業の一部のご紹介です	助成金額(予定)万円
北海道	特定非営利活動法人 青眼	就労に向けての技術習得、資格習得やPCなどの学習指導、自立支援活動	100
青森県	特定非営利活動法人 笑楽生	自宅、学校、デイサービスへの送迎、共生社会の現実に向けた地域生活支援事業	100
宮城県	特定非営利活動法人 セミナーレ	障害児の学童保育、障害児(者)の日中一時支援、夜間を含めた短期入所	100
福島県	NPO法人 コーヒータイム	福島県浪江町の精神障害者作業所を、震災後二本松で再開し、カフェと作業所を運営	100
群馬県	特定非営利活動法人 群馬リカバリーねっと	精神障害者・発達障害者の就労支援と啓蒙活動	100
東京都	特定非営利活動法人 かいとー	ワイシャツクリーニング作業、他に自主生産品の作成・販売など就労を通じた就労支援	100
長野県	特定非営利活動法人 介護屋 つむぎ	御岳山噴火後に木曾地域で始めた、障害者の介護事業、重度障害児の地域生活支援(37文字)	100
愛知県	特定非営利活動法人 夢ひろば	障害者とその家族が地域の中で生きていくための生活、および相談などの支援事業	100
愛知県	特定非営利活動法人 アジャスト	発達障害や、その可能性のある子どもとその家庭への家庭訪問型支援	84
三重県	特定非営利活動法人 共同受注窓口みえ	障害者就労施設の商品営業や販売支援を通じ、施設利用者の工賃・賃金の底上を支援	100

※助成金の贈呈式は、損保ジャパン日本興亜の支店と協力のうえ、助成先団体にて開催する予定です。



贈呈式の様子

## 研修会資金助成 関西地区贈呈式を開催

10月30日に損保ジャパン日本興亜大阪ビルで関西地区の合同贈呈式を開催し、大阪、兵庫、奈良、和歌山に所在する5団体にお集まりいただきました。若年性認知症の患者とその家族に対する支援で活躍されている梅村早苗様を講師にお招きし基調講演をしていただきました。また、贈呈先からは「介護者の皆様が地域で孤立することなく生き生きと介護していくために、心の灯火となる癒しや安堵感を提供できるよう、研修会資金を活用して取り組んで参ります。」などの声をいただきました。



関西地区贈呈先



基調講演



情報交換会

## 財団からのお知らせ

### 《福祉財団は、おかげさまで設立40周年を迎えました！》



1977年10月に設立された当財団は、皆様の深いご理解とご協力により設立40周年を迎える事ができました。皆様のご支援に感謝いたします。

2015年4月に障害者福祉を中心に取り組んできた損保ジャパン記念財団と、高齢者福祉を主体に取り組んできた日本興亜福祉財団が合併し、より広く公益に資する活動を行なっています。

民間の助成財団として、法制度の谷間になっている方々へ柔軟に対応することが私たちの役割・使命であり、先駆的な支援を心がけて参ります。引き続き皆様方の温かいご指導とご鞭撻をお願いいたします。



40周年記念誌発行  
(ご希望の方は事務局  
までご連絡ください)

### 《世界アルツハイマーデー記念講演会を後援しました》



10月に東京で、「(公社)認知症の人と家族の会」が主催する講演会が開催されました。

講師である新井平伊先生からは認知症医療や認知症と共生する社会のあり方についてメッセージを送られました。

認知症の本人・介護者の当事者5団体が集まり、それぞれの思いや活動の発表をし、医療・介護・地域の支援者が当事者の思いに沿った取組などをパネルディスカッションしました。



### 《第44回 国際福祉機器展を後援しました》



9月27日から東京ビッグサイトでアジア最大規模の福祉機器の総合展示会が、全国社会福祉協議会が主催、厚生労働省、経済産業省、当財団などが後援して開催されました。

最新の福祉機器の情報提供と福祉・介護・リハビリに関連する動向の紹介など、生活のあらゆる場面で利用される福祉・介護機器等の普及と開発や幅広い福祉分野の発展に生かせる最新情報の提供がありました。

